

2025 年度ゼミ（演習 2A／演習 2B）要覧

担当者名	趙 星銀
演習テーマ	「日本社会のしくみ」について考える
校外実習	1、実施しない 2、実施（実施時期： 年 月）
メール・アドレス	scho@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	火曜日・昼休み（予約制）
2026 年度に開講しない可能性 (研究サバティカル)	ない
授業概要	<p>ある社会における人々の「働き方」には、その社会固有の歴史から由来する特徴が表れています。そしてこれはその社会の「教育」や「福祉」などと連動し、人々の「生き方」を形作ります。</p> <p>日本社会の「働き方」と「生き方」は、ヨーロッパやアメリカ、アジアの国々とどう違うのでしょうか。そして、その理由は何でしょうか。</p> <p>このゼミでは日本社会の雇用、教育、福祉をめぐる歴史について学びながら、これから生き方についても考察したいと思います。</p>
学習目標	<p>1) 理解する力 言葉が頭を素通りしていかないように、文献を丁寧に読む訓練をする。テクストから得た知識を自分のものとしてしっかりと根付かせる。</p> <p>2) 説明する力 プレゼンテーションやディスカッションを通して、自分の考えを他の人にわかりやすく説明できるコミュニケーション力を身につける。</p> <p>3) 批判する力 正確な知識に立脚して、技術と政治に関する言説を批判的に考察する。</p>
授業計画	<p>春学期</p> <p>第 1 回 ガイダンス、序章</p> <p>第 2~4 回 第 1 章 日本社会の「三つの生き方」</p> <p>第 5~7 回 第 2 章 日本の働き方、世界の働き方</p> <p>第 8~10 回 第 3 章 歴史のはたらき</p> <p>第 11~13 回 第 4 章 「日本型雇用」の起源</p> <p>第 14~15 回 前期の振り返り・QnA</p> <p>秋学期</p> <p>第 1 回 ガイダンス</p> <p>第 2~3 回 第 5 章 慣行の形成</p> <p>第 4~5 回 第 6 章 民主化と「社員の平等」</p> <p>第 6~7 回 第 7 章 高度成長と「学歴」</p>

	<p>第 8~9 回 第 8 章 「一億総中流」から「新たな二重構造」へ 第 10~11 回 終章「社会のしくみ」と「正義」のあり方 第 12~15 回 卒業論文テーマ構想・指導</p>
予習	事前にテクストを読み、毎回コメントペーパー（1000~2000 字程度）を提出する。
復習	授業前：コメントペーパーの冒頭に前回の内容を簡略にまとめる。 授業後：各自の興味や疑問について参考文献を参照しながら整理しておく。
授業に関する注意事項	参加者は全員、1 回以上のプレゼンテーションを担当する。授業は参加者の報告とディスカッションを中心に行われる。
教科書	小熊英二『日本社会のしくみ——雇用・教育・福祉の歴史社会学』（講談社現代新書、2019 年） 授業開始日までに各自購入すること
参考書	授業中に紹介する
成績評価の基準	プレゼンテーション 40% 課題提出と授業への参加度 60%
関連 URL	<p>12 月 12 日（木）昼休みにゼミ説明会をオンライン（Zoom）で開催します。</p> <p>日時：12 月 12 日（木）12:40~13:20 Topic: 2025 演習 2（趙）ゼミ説明会 Join Zoom Meeting https://us02web.zoom.us/j/87287168563 Meeting ID: 872 8716 8563 Passcode なし</p> <p>カメラ・マイクはオンでもオフでも大丈夫です。どうぞ気軽にご参加ください。</p>
認定留学期間中の遠隔指導	<input checked="" type="checkbox"/> / 否 / その他()
備考	